

# 令和6年度 第4回内子町地域公共交通会議 議事概要

日時：令和7年3月17日（月）13:30～14:30

場所：内子町役場本庁 4階 第3会議室

## 議事次第

|  |
|--|
| 1. 開会  |
| 2. 会長挨拶  |
| 3. 議題<br>(1) 内子町地域公共交通計画について<br>(2) 内子・五十崎地区 街中交通について<br>(3) その他 |
| 4. 閉会  |



## 配付資料

- (1) 資料1 内子町地域公共交通計画について  
内子町地域公共交通計画（案）  
内子町地域公共交通計画 別冊資料（案）
- (2) 新たな交通（オンデマンド交通）のアイデア

## 委員一覧

|    | 氏名     | 所属（役職）                     | 出欠 | 備考           |
|----|--------|----------------------------|----|--------------|
| 1  | 太田 利栄  | 長田自治会長                     | —  | 副会長          |
| 2  | 池田 匠子  | 内子町民生児童委員協議会 会長            | ○  |              |
| 3  | 大塚 生男  | 内子町老人クラブ連合会 会長             | ○  |              |
| 4  | 西岡 健二  | 内子地区住民                     | ○  |              |
| 5  | 上岡 豊秋  | 五十崎地区住民                    | —  |              |
| 6  | 林 弘恵   | 小田地区住民                     | ○  |              |
| 7  | 松本 真一  | 一般社団法人愛媛県バス協会 専務理事         | ○  |              |
| 8  | 竹中 由紀夫 | 伊予鉄バス株式会社 代表取締役 専務取締役      | —  |              |
| 9  | 松下 貴義  | 愛媛県私鉄労働組合連合会 伊予鉄労働組合副執行委員長 | —  |              |
| 10 | 増田 輝彦  | 国土交通省四国運輸局愛媛運輸支局 首席運輸企画専門官 | ○  |              |
| 11 | 山本 美恵子 | 国土交通省四国運輸局愛媛運輸支局 首席運輸企画専門官 | ○  |              |
| 12 | 藤本 和巳  | 国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所 副所長  | ○  |              |
| 13 | 相原 俊史  | 愛媛県南予地方局八幡浜支局大洲土木事務所道路課長   | ○  |              |
| 14 | 神野 晋平  | 大洲警察署交通課長                  | ○  |              |
| 15 | 喜多 秀行  | 神戸大学名誉教授                   | ○  |              |
| 16 | 倉内 慎也  | 愛媛大学大学院 准教授                | ○  |              |
| 17 | 小野植 正久 | 内子町長                       | ○  | 会長           |
| 18 | 黒澤 賢治  | 内子町総務課長                    | ○  |              |
| 19 | 亀内 重範  | 内子町建設デザイン課長                | ○  |              |
| 20 | 窪 仁志   | 四国旅客鉄道株式会社 愛媛企画部長          | ○  | (栗田<br>委員代理) |
| 21 | 植西 文晴  | 有限会社 内子タクシー 代表             | —  |              |
| 22 | 池田 央   | 池田タクシー株式会社 代表              | —  |              |

| 発言者                                       | 内容   |
|---|--|
| <b>1. 開会</b>                              |  |
| 事務局                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回が今年度最後の会議となる。前回会議の内容や、パブリックコメントの結果を踏まえ、最終の計画案が出来たので、内容を皆さんに確認して頂き、問題なければ本計画書に沿った事業を進めていきたいと考えている。よろしくお願ひしたい。</li> </ul>  |
| <b>2. 会長挨拶</b>                            |  |
| 小野植会長                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内子町は地形上、山々が広がる中に集落が点在している。19路線のデマンドバスを運行し、少しでも住民の日常が便利になるよう努めてきたが、利用者が減ってきており、もっといい方法があるのではないかと検討をしていただいた。運転免許を返納しても便利に移動できるよう、この計画で提案したい。また、新たなまちなか交通についても提案をしたい。今回で最終となるが、忌憚のない意見をお願ひする。</li> </ul>                    |
| <b>3. 議題（1）内子町地域公共交通計画について</b>            |  |
| <p>≫事務局より、資料1「内子町地域公共交通計画について」を説明</p>     |  |
| 小野植会長                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の説明について何か意見はあるか。</li> </ul>   |
| 喜多委員                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書のP.10が加わったことにより、計画の目的が町民生活の充実であることが分かりやすくなった。そこで、「2-2 町民生活における移動の現状」というタイトルを、「2-2 移動が支える町民生活の現状」と改めれば、さらに分かりやすいのではないか。</li> </ul>   |
| 小野植会長                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の提案について意見はあるか。なければ、そのように改めたい。</li> <li>・議題1について他に意見がなければ、次に移る。</li> </ul>   |
| <b>3. 議題（2）内子・五十崎地区 街中交通について</b>          |  |
| <p>≫事務局より、資料「新たな交通（オンデマンド交通）のアイデア」を説明</p> |  |
| 小野植会長                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回まではデマンドバスのエリアでの住民助け合い輸送についての内容であったが、今回はまちなかにおける新たな交通である。関係者協議等はこれからであるが、5年間で実施したいという提案である。何か意見はあるか。</li> </ul>   |
| 喜多委員                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料P.1の図を見ると、小田地域にも「街中線」という表記が見られるが、同じものを考えているのか。</li> </ul>  |
| 事務局                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田地域とは別のものであり、今提案しているのは内子・五十崎地域のまちなかにおける新たな交通である。小田地域の街中線は、別の名称を考えたい。</li> </ul>   |
| 喜多委員                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料P.2の調査は、どういう調査なのか。町が実施したのか。</li> </ul>   |
| 事務局                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の方に協力いただき、町が実施した。民生委員が普段接している方々と対話して集めた意見である。</li> </ul>   |
| 喜多委員                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの信頼性の観点から、どんな人を対象に調査したのかを記載しておいた方がよいと思う。</li> <li>・議題1では、まちなか線について現状の記載にとどめるとしてしたが、この会議で承認が得られるのであれば、概要くらいは計画書に記載してはどうか。記載することによって、補助の対象となることも考えられる。</li> </ul>   |
| 小野植会長                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかには意外と移動に困っている方がおられ、タクシーもドライバーが足りていない。車を運転しない高齢の方は買い物や通院の回数を減らしている。そういった方々に手をさしのべる必要があるのではないか、という提案である。補助を受けられるのなら、補助を受け、住民ドライバーの施策とあわせて進めていきたいが、よろしいか。（異議出ず）ではこのように進めたい。</li> <li>・議題2について他に意見がなければ、次に移る。</li> </ul> |

| 発言者                | 内容  |
|--------------------|---|
| <b>3. 議題（3）その他</b> |   |
| 栗田委員代理             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題2のP.2のアンケートは、興味深い内容である。対象者は、高齢者が多かったのか。</li> </ul>  |
| 事務局                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員による見守り世帯が主な対象である。対象年齢を絞ったわけではないが、結果的には65歳以上の高齢者が多かった。</li> </ul>  |
| 小野植会長              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかはデマンドバスの区域外であり、ほとんどの移動を自家用車に頼っている。高齢者へのしっかりした対応が必要である。</li> </ul>   |
| 喜多委員               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書の中に、鉄道に関する施策が少ないが、鉄道は重要な公共交通であるので、どのようなサービスが出来るのか追記してはどうか。</li> </ul>  |
| 小野植会長              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の移動で鉄道を利用している人もおられるので、追記してほしい。</li> </ul>   |
| 相原委員               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド交通について、当面は電話予約という形になると思うが、利用が増えれば予約を受ける側のオペレーションも簡単ではない。運用の最適化の中で、AIを活用した先進事例も見られる。こうした取組は補助の対象になると思うので検討してはどうか。</li> </ul>   |
| 小野植会長              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その通りだと思う。予約を的確に受けるには、ソフトの導入も必要かも知れない。</li> </ul>  |
| 喜多委員               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・束ねて輸送、個別に輸送、まちなか交通ともに、予約を受けるオペレーションが効率的に、かつ利便性が高い方法となるよう検討する、といったことを追記してはどうか。補助を受けるにしても、計画書に書いてあることが要件となる場合がある。</li> </ul>  |
| 小野植会長              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・そのように追記したいと思う。</li> </ul>   |
| 倉内委員               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書P.35にはコンパクトで住みやすいまち、という長期目標を掲げているが、立地適正化計画で取り組むような内容であり、実現には時間がかかる。住民ドライバーの供給にも関わることであり、早期に努力していくことが重要だと思う。</li> <li>・計画書P.49に掲げる多様な関係者との連携・協働について、医療、福祉、スポーツ施設、自動車学校等、さまざまな事業者が送迎サービスを行っている。行政には、こうした輸送力の供給をうまくコーディネートしてもらいたい。みんなが幸せになれる計画なので、早い段階で動き出していただけたらと思う。</li> </ul> |
| 喜多委員               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画を策定するにあたり国の補助を受けていると思うが、立地適正化計画との関連を記載する等の要件はなかったらどうか。一度確認しておいた方がよい。</li> <li>・自家用有償輸送の白ナンバー車両は、自家用車だけでなく、業務用車両も含まれる。例えば酒屋さんの配達車両や、役場の車両でも可能である。こうした業務用車両についても連携を図っていくことを追記してはどうか。</li> </ul>  |
| 小野植会長              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その点についても追記し、取り組んでいきたい。</li> <li>・他になければ、議事は以上とする。</li> </ul>  |
| 事務局                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議事を踏まえ、計画書の細かな修正については事務局に一任していただくことでよいか。（異議出ず）</li> </ul>  |
| <b>4. 閉会</b>       |   |
| 事務局                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の内子町地域公共交通会議は令和7年4月18日をもって任期が満了し、解散となるが、引き続き、気軽にご意見をいただけたらと思う。</li> <li>・以上で閉会とする。</li> </ul>  |